

令和3年度 第2回久留米市食育推進会議 議事録

日 時：令和3年8月25日（水）15時00分～16時15分

場 所：メルクス久留米市職員会館 3階ホール

出席者：(会場)中島 年隆会長、高原委員、宮地委員、山崎委員、山口委員

(オンライン) 山下 浩子副会長、佐野委員、早川委員、田中委員、小高委員、佐藤委員、梅本委員、吉田委員、豊福委員、甲斐田委員、秦委員（代理：平田氏）

以上16名

（欠席者：古賀委員、山下 経男委員、坂本委員、山下 伸子委員、中村委員、高田委員、中島 誠治委員）

事務局：農政部農業の魅力促進課 林田課長、古賀主幹、小形課長補佐、鉄川主査、河津主事

子ども未来部子ども保育課 中村課長、相浦技術主査

子ども未来部子ども政策課 山崎課長

子ども未来部こども子育てサポートセンター 清水所長、小宮主事

教育部学校教育課 薄課長、吉田指導主事

学校保健課 小野課長、松延指導主事、江島会計年度任用職員

健康福祉部保健所健康推進課 柴尾課長、重永主任主事、

環境部資源循環推進課 松永課長、別府主事

傍聴者：なし

次 第：1. 会長あいさつ

2. 協議事項

(1) 第3次食育推進プラン総括から導かれる次期プランの考え方

(2) 第4次食育推進プラン 骨子（案）

3. その他

議 事：

1 会長 あいさつ

会長	挨拶
----	----

2 協議事項

(1) 第3次食育推進プランの総括から導かれる次期プランの考え方

説明：鉄川主査

(2) 第4次食育推進プラン 骨子(案)

A委員	第4次食育推進プランの計画期間は、4年間と説明があったが、第4次プランだけが4年間なのか。それとも、今回以降の計画も4年間となるのか。
事務局	今までも、本市の上位計画である国の食育推進基本計画の計画期間に合わせて5年間で策定してきた。しかし、昨年度、本市プランの計画期間を1年間延長したことにより、国の計画とズレが生じたため、国の計画期間と合わせるため、令和7年度までの4年間とするものです。また、市のマスタープランである総合計画の最終年度も令和7年度となっていることから、4年間とした理由の1つです。 今後の第5次以降の計画期間は、国の計画期間を基本としながら、市の総合計画も考慮し、次期策定期の食育推進会議で決定していきたいと考えている。
B委員	久留米市の第4次プランの中ではSDGsの考え方をどのように反映していこうと計画しているのか方針等を教えてほしい。
事務局	SDGsとは、地球環境や自然環境が適切に保全されて、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代の要求を満たすよう行動していくということで国連の会議で採択されている。SDGsは17の目標の下、169のターゲット、232の指標が決められている。参考資料として配布しているように、「SDGsアクションプラン2021」に「食育の推進」が盛り込まれている。「食育の推進」は、8つの優先課題に関して推進する取組の中に含まれている。久留米市では、食育を推進するために、様々な事業に取り組むが、SDGsの17の目標のうち、「飢餓をゼロに」、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「作る責任、使う責任」を踏まえながら、事業を実施していく必要があり、今後の事業計画にも反映させていく必要があると考えている。

B委員	<p>「SDGs」という言葉が、ここ1～2年で急にメディアでも言われるようになったように感じるし、国の第4次食育推進計画の中にも記載されている。「SDGs」という言葉だけが独り歩きするのではなく、久留米市のプランでは市民に、具体的にこの部分をSDGsと擦り合わせているということが分かるようにしていただければと思う。</p> <p>あわせて、国の重点事項の中に出てくる「持続可能な食育」とは、どのような食育を行っていくのかを個人の意見ではありますが、久留米市の食育プランでは分かりやすく表現し、プランの中に入れて欲しい思いがある。</p>
会長	<p>久留米市の食育推進プランではどの項目が該当しているのかを具体的なマーキングや、SDGsをどういうふうに反映していくのかという山下先生のご意見に対し、今後、第4次プランの策定に向けた中で委員の意見を伺いたいし、事務局もそういう視点での素案の作りこみをお願いしたい。</p>
C委員	<p>「基本施策Ⅲ 食と農への理解を促進する食育」の個別施策「地産地消の推進」の中で、食生活改善推進員協議会では、久留米市の農産物を一般の方々へ調理を通して地産地消の啓発に取り組み、昨年度までは地域で料理講習会を年30回実施してきた。今年度からは、ビデオ動画により、旬の農産物を使った料理を公開するように啓発するやり方が変わると説明があったが、高齢者はオンライン等に不慣れでもあるので、今後どのような方法で地産地消を進めていくのか、心配している。</p>
事務局	<p>昨年度までのような調理教室は、コロナ禍のため、集まっての開催が難しいとのことで、今年度からはビデオ撮影によるSNS等を使った動画配信での情報発信へ変更させてもらった。今年度の取組は、コロナの状況を注視し、しっかり業者と食進会と情報を密にして、できる形を協議させてもらえればと考えている。</p>
会長	<p>食進会のメンバーが地産地消の活動に大変意欲的であるということを経済局も念頭に入れて、進めて欲しい。</p>
B委員	<p>全体を通して指標項目等の説明を受けたが、第3次プランと比較して指標項目の数が減少している。今回、削除したものや見直したものなど、全体的に面について説明してほしい。</p>
事務局	<p>第4次食育プランの指標目標は12項目で、第3次プランの15項目よりも3項目減少している。</p> <p>第4次プランの指標の設定の基本的な考え方としては、①国の食育推進計画や市の総合計画の上位計画の指標、目標数値との整合性を図ること、②第3次プランの評価でA評価の目標を達成した指標や令和3年度中に目標達成が見込まれる指標は削除する</p>

	こと、③施策を跨いで重複して設定している指標は、重複させないことなどを踏まえて各部会で指標を検討いただき、6項目ほど削除した。その代わり3項目を新たに設定している。第4次プランの指標項目では、説明があったように学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合を国の計画に合わせて、重量ベースから金額ベースへと見直しを行った項目もある。
B委員	目標を達成するための具体的な取組内容の説明は、次回の会議で詳細な計画がでると考えてよいか。
事務局	具体的な取組内容は、詳細な事業等を次回の会議で提案する予定ですので、そのときに委員の皆さまで議論いただきたい。
会長	本日、委員よりいただいた意見に対しては、事務局で協議し、検討してほしい。

3 その他

- ・「ふるさとくるめ農業まつり」の中止に伴う食育啓発展示の内容変更について
説明：鉄川主査